

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 22 日(2024.7.22)

【公開番号】特開 2024-28501(P2024-28501A)
【公開日】令和 6 年 3 月 4 日(2024.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2024-040
【出願番号】特願 2024-4738(P2024-4738)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 7 月 11 日(2024.7.11)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技者が操作可能な所定のスイッチと、
発光する所定の L E D が実装されている L E D 実装基板を内部に備えた入力装置と、
前記 L E D 実装基板を固定する固定部材と、
表示窓を有する扉と、
リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を
回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリ
ールと、
前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、
複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品（係
止部品はビス）と
を備え、
前記所定の L E D の高さより、前記所定の L E D と同一面に突出している前記固定部材
の突出している部分の高さの方が高く、
前記固定部材はメッキ加工が施されていることにより、光源からの光を反射可能であり、
複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部
品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上
方で固定されており、
前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテ
ープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離 n と、の関係が $m > n$ とな
っている
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 5】

遊技者が操作可能な所定のスイッチと、

50

発光する所定のＬＥＤが実装されているＬＥＤ実装基板を内部に備えた入力装置と、
前記ＬＥＤ実装基板を固定する固定部材と、
表示窓を有する扉と、
リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を
回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリ
ールと、
前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、
複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品（係
止部品はビス）と
を備え、
前記所定のＬＥＤの高さより、前記所定のＬＥＤと同一面に突出している前記固定部材
の突出している部分の高さの方が高く、
前記固定部材はメッキ加工が施されていることにより、光源からの光を反射可能であり、
複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部
品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上
方で固定されており、
前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテ
ープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離 n と、の関係が $m > n$ とな
っている
ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50